



北鎌倉の散歩道 浄智寺から円覚寺

とある梅雨の朝。 銭洗弁天から、浄智寺へとつながってゆく谷戸の道を歩く。いかにも趣きのある住宅街を出ると、そこは静けさが漂う浄智寺。さらに、北鎌倉駅付近の白鷺池のそばを通過して、横須賀線の線路を越えて、見上げると、そこは円覚寺。鎌倉ものがたりより



歴史と文学に触れる

「門」 夏目 漱石（明治42年頃の作品） あらすじ

主人公、野中宗助は東京のとある横町の奥のがけ下にある暗い借家に妻御米とひっそりと暮らしていた。宗助は京都大学在学中は父の被護のもと優雅に過ごしていたが、ある事件以来家、友人、社会の全てから逃げ出していた。

大学を中退し、広島、福岡と流れた末、知人の引き合いで何とか東京府の下級官吏として勤務することになる。生活は苦しいが、夫妻は互いに信じあい、深い愛情に包まれ、およそ世の中の動きから隔絶された毎日を送っていた。ものがたりは、宗助と御米の出会いからの回顧に始まる。

宗助は学生時代、親友の安井の家を訪問した際、御米を「妹」として紹介される。その後、3人は親しく交際するが、「事件」（どのような事件かは最後まで不明）が起き、安井とは音信が途絶える。

ある日、宗助の家の裏のガケから何者かが転げ落ち、崖上の大家坂井氏の家の手文庫を発見する。坂井家に泥棒が入り、足を踏み外してそこに落した物である。

手文庫を坂井氏に届けた宗助は当家の主人と懇意になる。坂井家を訪問した宗助に坂井氏は「宗助の家に居候している弟（小六）を私の書生にしてはどうか」と提案を受ける。喜んだのもつかの間、主人の弟についての話の内容に驚愕する。弟は放蕩者で、蒙古に住んでいるが再々金の無心に来るといふ。「なに引っ掛かっちゃいけませんかね。黙って向こうに喋らして聞いている分には少しも危険はありません。ただ面白いだけです。」だが、一緒について来る男は安井という。

妻御米にそのことも言えず宗助は友人の紹介で鎌倉円覚寺で禅行をすることにする。

「宗助は一封の紹介状を懐にして山門（塔頭帰源院）を入った。」宗助は、塔頭（庵を与えられた修行僧）の宜道の暖かいもてなしを受け、座禅を組むが悟りどころかいかにして安井から御米を守るかの迷いのまま草庵を出る。

「自分は門を開けてもらいに来た。けれど門番は扉の向側にいて、たたいてもついに顔さえ出してくれなかった。ただ「たたいても駄目だ。一人で開けて入れ」という声が聞こえただけであった。彼はこうしたらこの門の門を開けることができるかを考えた。そうしてその方法を明らかに頭の中で拵えた。けれどもそれを实地に開ける力は、少しも養成する事が出来なかった。・・・」

茅葺作業見学&鎌倉散策のご案内

日時:8月28日(月) 雨天:29日(火)延期

集合:午前10時・北鎌倉駅

場所:鎌倉市山ノ内416 円覚寺内 帰源院



行程:

7:00 宇都宮発(上野行き)

雀宮・石橋の方は出発時間を確認下さい。

7:17 自治医大発(上野行き)

7:21 小金井着

乗り換え 7:27 小金井始発(湘南新宿ライン逗子行き)

小山・間々田の方は出発時間を確認下さい。

7:46 野木発(湘南新宿ライン逗子行き)

古河の方は出発時間を確認下さい。



9:59 北鎌倉着

旅費:

往復は8月いっぱい利用できるJR「ホリディパス」がお得で便利です。

例:小山発売「ホリディパス・鎌倉方面往復」2,300円(利用駅で違います)

宇都宮販売「鎌倉フリーキップ」4,900円もありますが、普通キップ+

小山からの「ホリディパス・鎌倉方面往復」を購入した方がお得です。

食費:

昼食:2,100円(山下飯店・中華ランチ)

他:円覚寺拝観料 300円

ほか:

北鎌倉までは自由行動です。上の行程は代表例です。

費用は各自精算下さい。(例:旅費2,300+食費2,100+拝観料300円=4,700円)

北鎌倉駅から団体行動になります。

茅葺見学の「帰源院・山門」は夏目漱石著「門」の題名となった山門です。

準備の都合上・・・8月24日(木)締切とさせていただきます。

当日の連絡先:090-2679-3136(吉村) 090-6799-6966(大竹)まで



主催 (株)茅葺屋根保存協会
栃木県下野市大光寺1-5-11
0285-51-0786

共催 (株)アップル
栃木県下野市祇園1-20-1
0285-44-8208